

物部川地域アクションプラン進捗管理シート 総括表

(平成27年度 第3四半期)

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 <これまでの主な成果:○ 課題:◆>	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p><b>1 南国市の園芸主幹品目シシトウの再構築</b></p> <p>《南国市》</p> <p>全国一のシシトウ産地維持のため関係機関と協力の上、コスト削減や品質改善などに取り組み、生産・流通・販売上の課題を解決する。</p> <p>【JA南国市、JA長岡、JA十市】</p>	<p>○3JA合同の生産者大会や現地検討会、消費宣伝などに取り組み、3JA間の生産技術及び販売レベルの高位準化に努めた。</p> <p>○重油価格が高止まりするなか、省エネ型温水温風暖房機やヒートポンプの省エネ効果を検証した結果、約30%の重油削減ができた。</p> <p>○天敵の導入を推進した結果、H25園芸年度で95.5%と高い導入農家率となった。また、先進地調査や実証は結果から土着天敵活用の気運が高まり、導入農家が増加した(H23園芸年度5戸→H26園芸年度50戸)。ただし、新たな難防除害虫の発生への対策が求められる。</p> <p>○研修事業を終了した研修生が新たに栽培を開始した。</p> <p>◆重油等生産コストの上昇や高齢化の進行などもあり、H19園芸年度の農家数130戸、栽培面積18.3haから、H26園芸年度は106戸、13.2haと減少しており後継者の育成が必要である。</p> <p>◆重油代替機器は導入コストがかかり普及しにくい現状がある。</p> <p>◆収量が伸び悩んでおり、低収要因の解明や増収技術の導入が必要である。</p> <p>◆新規栽培者については、経営安定に向けた支援が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関での検討情報共有(営農改善会5回)</li> <li>・JA長岡シシトウ部会研修会(4回)</li> <li>・3JA合同現地検討会(1回)</li> <li>・各JAシシトウ部会出荷反省会(4回)</li> <li>・各JAシシトウ部会総会(2回)</li> <li>・3JA合同会議(3回)</li> <li>・収量改善支援農家に対する個別巡回及び情報収集(延44回)</li> <li>・出荷予測・栽培情報発信(4~6月、9月~)</li> <li>・新規栽培者に対する個別巡回及び情報収集(延98回)</li> <li>・経営分析結果の検討(1回)</li> </ul>
<p><b>2 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化</b></p> <p>《南国市》</p> <p>還元水を活用した栽培技術を確認し、「還元野菜」としてのブランド化を図るとともに成分分析をし、機能性の検証を行う。</p> <p>【農業生産法人株式会社南国スタイル、株式会社トリムエレクトリックマシナリー、高知大学】</p>	<p>○南国スタイルでは南国日本トリムの開発した「還元野菜整水器」によって生成された水を農業生産に活用するために、H23.6月より葉菜類中心に試験栽培を行っている。整水器を使用することで生育促進効果など生産面で違いが現れており、H24年度には高知県農業技術センターでピーマンの育苗試験、高知大農学部ではホウレンソウ・カイワレダイコンの発芽試験等を行った結果、生育促進効果が認められた。</p> <p>○H25年度は南国スタイルのハウス整備に取り組み、H26年度には高知のこだわり青果市や日本トリムの顧客向けに還元野菜の販売を行った。</p> <p>○実証栽培面においては、実証作物(コマツナ、バジル、スイカ、メロン、ホウレンソウ)で成分分析をおこない還元水試験区に多少の優位性が認められた。</p> <p>◆還元水を活用した栽培技術の確立</p> <p>◆品目毎の実証試験と分析、試験データの蓄積</p> <p>◆還元野菜の販路開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者雇用 2名(4/20~、5/1~)</li> <li>・技能実習生の受け入れ 2名(9/17~)</li> <li>・高知県こうち農業確立総合支援事業採択(還元水整水器)(9/30)</li> <li>・トリムユーザー向け還元野菜セットの販売開始(12/21~)</li> </ul>
<p><b>3 エメラルドメロンの販売力向上対策</b></p> <p>《香南市》</p> <p>香南市夜須町のJA土佐香美園芸部メロン部会夜須支部部員が生産するエメラルドメロンは平成19年には「夜須のエメラルドメロン」として商標登録を行うなど、独自のブランド化に取り組んできた。平成21年度から23年度には、県産業振興推進総合支援事業を活用し、生産面において新技術の導入(日射比例かん水制御システム)、販売面では、それまでの県内や関西圏を中心とした販売から関東圏での販売拡大を目指して、新たな販売戦略の構築に努めてきた。</p> <p>過去3カ年間の取組をもとにさらなる生産拡大、関東圏での販売量拡大・知名度向上と合わせて全消費地でのブランド化に取り組む。</p> <p>【JA土佐香美】</p>	<p>○日射比例かん水制御システムの導入により、生産農家のかん水作業の省力化が図られるとともに、品質が向上し、可販果率が向上した。また、関東地区での百貨店等における試食宣伝やバイヤーの産地招聘など継続した販売促進活動が知名度を向上し出荷量が拡大してきている。</p> <p>○化学合成農薬の防除効果が低減し、黄化えそ病等虫媒伝染性ウイルス病が多発した。天敵実証により利用技術確立をすすめるとともに、平成25年度には、部会全戸が1作目の作型に天敵を導入し、抑制栽培での被害が軽減した。NOSAI香美引き受け被害株数、前年比86%減。</p> <p>○炭酸ガス施用の方法等検証を進めるとともに、補助事業等の活用等により導入農家戸数が平成26年度には10戸と拡大している。</p> <p>◆関東地区への出荷量拡大</p> <p>◆冬季の草勢維持による果実肥大や品質向上</p> <p>◆天敵利用技術の更なる検証</p> <p>◆高温期の大玉軽減対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試食宣伝の実施(県内1回、徳島1回、兵庫1回、愛知1回、広島1回)</li> <li>・市場等が高値の商談会実施(6/9:大阪中野、仲卸、販売店、10/27:大阪中野、名古屋名果、仙台宮果、高知青果、石川丸果)</li> <li>・炭酸ガス施用を行っているほ場(2ヶ所)で、ハウス内環境測定と生育調査を実施(~6/11)。他の施用農家2ヶ所で炭酸ガス濃度を測定した。</li> <li>・環境制御技術導入加速化事業で、炭酸ガス発生機4戸5台、環境測定装置5戸5台を交付決定(8/14)</li> <li>・害虫の発生密度を低く保つため、次園芸年度抑制作において天敵の全戸導入を勧めた。</li> <li>・現地検討会の開催(4/15:6名、6/10:6名、7/9:6名、12/2:9名)</li> <li>・土壌病害発生状況、防除対策聞き取り調査(5~6月:13戸)、えそ斑点病耐病性品種実証評価試験(11月3回、12月4回延べ25名)、品種試験栽培3品種延べ22ヶ所)</li> <li>・メロン部会の販売や土壌病害対策、天敵使用について全体会の開催(7/22:12名)</li> </ul>

<b>アウトプット(結果)</b> <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	<b>アウトカム(成果)</b> <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	<b>指標・目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA長岡シントウ部会研修会参加者数(延49名)</li> <li>・各JAシントウ部会出荷反省会参加者数(56名)</li> <li>・3JA合同現地検討会(13名)</li> <li>・各JAシントウ部会総会参加者数(29名)</li> <li>・出荷予測・栽培情報発信回数(25回)</li> <li>・経営分析調査実施農家数(4戸)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27園芸年度販売額 10.6億円</li> </ul>	<p>【指標】 シントウ販売額 H23園芸年度 10.4億円</p> <p>【目標(H27)】 10.8億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・還元野菜セットの売上(12月末現在) 181セット 543千円</li> </ul>		<p>【指標】 栽培技術のマニュアル化ができた品目数</p> <p>【目標(H27)】 10品目</p> <p>【指標】 「還元野菜」の販売先数</p> <p>【目標(H27)】 3箇所</p> <p>【指標】 機能性に基づく差別化ができた品目数</p> <p>【目標(H27)】 3品目</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・炭酸ガス発生機5台、環境測定装置5台を新規導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27園芸年度販売額 4.5億円</li> </ul>	<p>【指標】 エメラルドメロン販売額 H23園芸年度 4.4億円</p> <p>【目標(H27)】 4.8億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p>



【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

＜物部川地域＞

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 〈これまでの主な成果：○ 課題：◆〉	インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉
<p><b>4 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」</b></p> <p>《香南市、香美市》</p> <p>JA土佐香美は日本一のニラ産地であるが、近年は、個々の農家の規模拡大が進む一方で、高齢化により部会員数は減少している。こうした状況の中で、農業所得の向上や産地の維持・拡大を図るため、産地でまとまりをもって、環境保全型農業技術や新技術の導入に取り組むとともに、担い手対策や既存農家の規模拡大支援など、産地力の向上に向けた取り組みを総合的に進める。</p> <p>また、食の安全・安心への取組とあわせて、「人と環境に優しいニラ産地」としての土佐香美ブランドを構築し、市場での有利販売に取り組む。</p> <p>【JA土佐香美】</p>	<p>○JA土佐香美園芸部ニラ部会は平成20園芸年度に253戸・84.5ha・23.5億円であったが、平成26園芸年度は、231戸・97.4ha・24.1億円である。戸数は、高齢化による離農等により年々減少傾向にある。面積は、U・1ターンによる新規就農や既存農家の規模拡大により減少をカバーして、平成25園芸年度までは拡大していたが、98.6haをピークに減少している。販売額は平成20園芸年度から平成24園芸年度28.8億円と年々伸ばしたが、平成25園芸年度は、23.6億円と減少し、平成26園芸年度は24.1億円とやや持ち直した。</p> <p>平成26年度には、5年後10年後の意向調査や規模別農家の販売額、所得等の分析を実施するとともに、小袋包装に高知家のロゴマークを入れた。</p> <p>新技術や新品種の積極的な取り組みによる反収の増加やコスト削減を進め、作型改善、経営の安定化を推し進めている。</p> <p>◆長期的な産地ビジョンの策定 ◆夏場や厳寒期は出荷量や品質が不安定であること ◆新規就農者の確保や育成のためのバックアップ体制が不十分であること ◆調整作業労力の不足 ◆さらなる土佐香美ブランドの構築</p>	<p>・産地ビジョンをPT会(4/14、4/28、8/14)や役員会(4/30、6/8、9/10、)で検討し、10/9の役員会、10/19の総会で承認された。推進方法と方策を役員会(11/18)、PT会(12/7)、PT3チーム会(12/25)で検討した。</p> <p>・10年後の産地目標を市場販売金額40億円(JA入金額では約34億円)とすることを役員会で決定した。</p> <p>・環境制御技術導入加速化事業説明会での事業や効果の説明会(4/23、7/7)を行い、希望農家の面積や導入機種などについて聞き取りを行った。</p> <p>・環境制御技術導入加速化事業費補助金(炭酸ガス発生機6台、環境測定装置9台)の交付決定(8/14)</p> <p>・有望品種、栽植様式、効率的肥料などの実証ほの設置(品種4、栽植様式1、肥料1ヶ所)。</p> <p>・新規栽培者への栽培基本的技術習得指導(グリーンカレッジ2回)</p> <p>・攻めの農業実践緊急対策事業を活用した調整作業機導入の説明会の開催。香美市地域再生協議会への事業申請支援、承認(12/24、6戸、6台)。</p>
<p><b>5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策</b></p> <p>《香美市》</p> <p>香美市物部町を中心とした地域は、国内最大のユズの青果出荷(玉出し)産地であるが、生産者の高齢化などから生産の維持が困難になっている。このため、出荷作業時の労力軽減、農作業受委託の仕組みづくり、新たな担い手の掘り起こしを通じて作業者を確保し、産地の維持発展を図る。また、新たな需要を掘り起こし、選果場の機能を強化して販路を拡大する。</p> <p>【香美市、JA土佐香美】</p>	<p>○高齢化する生産農家の労働負担の軽減対策として、作業受託組織「ゆずもり」の事務局や料金体系を整備した。</p> <p>○全生産者を対象としたアンケート調査を実施し、樹種や樹齡の状況及び生産者の意向を把握した。</p> <p>○貯蔵性に優れるが果色が薄い系統(公文2号)を「柚月」と命名し、別販売した。</p> <p>○ものべゆず女性倶楽部の発足によって部会が活性化し、消費宣伝の体制が整った。</p> <p>○基盤整備促進事業による園地のせま地直し、スピードスプレーヤーによる防除作業の省力化、全量選果に向けた集出荷体制の整備を盛り込んだ「産地構造改革計画」を策定した。</p> <p>○青玉、カラーリング、黄玉、冬至、貯蔵とリレー出荷し、防除作業を省力化する経営モデル(1.5ha規模)を作成した。</p> <p>○若手生産者は、こうち農業確立総合支援事業を活用して圃場整備(H24)し、スピードスプレーヤーを導入(H26)したことで、大規模経営に向けた足掛かりができた。</p> <p>○部会では、こうち農業確立総合支援事業を活用して小袋包装機を導入(H25)することにより、一般消費者向けに新たな販路拡大すべく体制を整備した。</p> <p>○部会は、高齢化により生産者数が減少しても、青果産地として市場から認められるために100haを維持する(現状145ha)ことを合意した。</p> <p>◆生産者の高齢化 ◆大規模経営に対応した省力化体制の整備 ◆担い手の確保 ◆販路の拡大</p>	<p>・産地協議会の開催(6回)</p> <p>・委員会の開催(5回)</p> <p>・楮佐古集落協定代表者との打合せ(1回)</p> <p>・楮佐古集落の意向について航空写真に色分け作業をした(1回)</p> <p>・楮佐古集落の意向確認(1回)</p> <p>・五王堂地区で農地活用についての話し合い(1回)</p> <p>・五王堂地区での現地調査(2回)</p>
<p><b>6 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大</b></p> <p>《南国市》</p> <p>国道195号通称「あけぼの街道」の全線開通を好機ととらえ、直販所・加工所を本線沿いに移転拡充して地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売を行い、地域農業者の所得向上を図るとともに、隣接する「ながおか温泉」への誘客を促進し、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>【JA長岡】</p>	<p>○産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、なの市・なのカフェとして移転拡充オープン(H26.4月)</p> <p>○売り上げ額の増加(H22 33,000千円⇒H26 171,659千円)</p> <p>○雇用の増加(H22:3人⇒H26:32人)</p> <p>◆独自性を持たせた競争力のある商品開発 ◆併設する「ながおか温泉」との連携 ◆品揃えを豊富にするため新規会員募集による会員の増</p>	<p>・生産者会議の開催(1回)</p> <p>・会計アドバイザーとして税理士を導入(6/1～)</p> <p>・ひまわりフェスタの開催(11/7)</p> <p>・スタンプカード開始(12/1～)</p> <p>・カフェ部門の新メニューを検討</p>



アウトプット(結果) 〈インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと〉	アウトカム(成果) 〈アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと〉	指標・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>炭酸ガス発生機6台、環境測定装置9台を新規導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27園芸年度販売額 27.1億円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【指標】</li> <li>ニラ販売額</li> <li>H23園芸年度 28.4億円</li> <li>【目標(H27)】</li> <li>30.0億円</li> <li>※販売額はJAへの入金額</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>園地の集約やSSの導入を進めることの合意を得た</li> <li>栽培講習会(参加者37名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27園芸年度販売額 5.2億円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【指標】</li> <li>ユズ販売額</li> <li>H23園芸年度 4.3億円</li> <li>【目標(H27)】</li> <li>5億円</li> <li>※販売額はJAへの入金額</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェ部門で新メニューの提供開始(12/5～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直販所等の売上額:112,192千円(4月～11月末現在)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【指標】</li> <li>直販所等の売上額(H22:33,000千円)</li> <li>【目標(H27)】</li> <li>100,000千円</li> <li>【指標】</li> <li>直販所等の雇用者数(H22:3人)</li> <li>【目標(H27)】</li> <li>8人</li> <li>【指標】</li> <li>ながおか温泉入場者数(H22:16万人)</li> <li>【目標(H27)】</li> <li>19万人</li> </ul>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 <これまでの主な成果:○ 課題:◆>	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>7 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充</p> <p>《南国市》</p> <p>農産物の価格低迷と資材等の高騰により大幅に減少している農家所得の向上のため、直販所を移転改装するとともに機能拡充を図り、地元農産物を活用した商品の販売と顧客獲得に取り組む。</p> <p>【JA十市】</p>	<p>○産業振興推進総合支援事業費補助金を導入し、「ごとおち市」として移転拡充オープン(H25.3月)</p> <p>○売上額の増加(H22:4,325千円⇒H26:28,250千円)</p> <p>○雇用の増加(H27.3月:9名)</p> <p>○会員数の増加(H22:11名⇒H26:97名)</p> <p>◆会員数の増加(当初目標100名)に向けた新規募集</p> <p>◆独自性のある看板商品の開発</p>	<p>・2周年祭の実施(4/10,11)</p> <p>・生産者会議の実施(2回)</p> <p>・経営改善計画の策定(12月)</p>
<p>8 加工品販売による夜須地域の活性化</p> <p>《香南市》</p> <p>地場産物を活かした加工品開発・販売を行い、生産農家の所得向上につなげる。</p> <p>【協同組合やすらぎ市】</p>	<p>○産業振興推進総合支援事業費補助金により加工施設が整備され、ゴロゴロメロンパンなどの加工品の販売が始まった(H26加工品販売額:9,600万円)。</p> <p>○地元加工業者と連携し、新たな加工品の販売が開始された(ジュレ3品)。</p> <p>○加工事業に取り組むことにより新たな雇用が創出された(4名)。</p> <p>◆新たな加工施設で製造する商品の安定生産と主力商品の定着</p> <p>◆加工商品数の増加</p> <p>◆ホームページの情報発信ツールとしての活用強化</p>	<p>・主力商品生産販売計画検討(3回)</p> <p>・店頭の商品PR方法の改善、検討(5回)</p> <p>・新商品の開発に向けた検討(8回)</p> <p>・HP担当者との情報発信ツールとしての活用方法の研究、検討(3回)</p> <p>・加工業者との新商品開発、検討(1回)</p> <p>・既存商品の改良・検討(4回)</p> <p>・キッチンマーメイドの収支及び主要商品の原価検証(2回)</p>
<p>9 地産地消・食育の推進</p> <p>《南国市》</p> <p>これまで先進的な地産地消の活動を行ってきたが、学校給食への野菜の供給割合は10%台であり、これからも農業生産法人の作る重量野菜の季節的利用、南国産野菜の生産情報の提供など地産地消の推進のため、組織の連携強化等を図っていく。あわせて、病院や介護施設など業務筋への販売、配送拡大に努める。</p> <p>また、生産者と消費者をつなぐ場づくりとしてオープンした「農家レストランまほろば畑」についても、経営の安定化を図り、地産地消を推進していく。</p> <p>さらに、地域食材を活用した料理や商品の開発及び販売を進めるためにペーカリーを併設した農園レストランを整備・運営することにより、地域の農業所得の向上と雇用の創出を図る。</p> <p>【JA南国市出資生産法人株式会社南国スタイル、JA南国市、JA長岡、JA十市、南国市地産地消推進協議会、農家レストランまほろば畑、南国市、株式会社ナイフアンドフォークカンパニー】</p>	<p>○市内小学校への給食用食材の配送システムが整ったことにより、地元野菜の供給割合は16.3%を達成した。また、業務筋への配送先は34事業体となった。(H21~26)</p> <p>○地産地消フェア(H21)や地産地消推進協議会総会を通じて推進体制の強化を行った。(H21~26)</p> <p>○生産者と消費者をつなぐ場づくりとして道の駅南国風良里に毎火曜日農家レストランをオープンした。5グループによる輪番制で、来店者の平均は180人を超える。(H22~H26、181回開催、来客数33,380人)</p> <p>◆学校給食における学校給食会(教育委員会)と農林水産課サイドの連携</p> <p>◆配送業務を法人の一事業として成り立たせるための販路拡大</p> <p>◆まほろば畑のコンセプトの一つ「長く続ける」ための課題解決</p>	<p>㈱南国スタイル</p> <p>・南国市地産地消推進補助金(5,000千円)</p> <p>・南国市JA出資型農業生産法人育成補助金(5,000千円)</p> <p>㈱ナイフアンドフォークカンパニー</p> <p>・高知県産業振興推進総合支援事業補助金(総事業費272,063,674円 県50,000千円 市25,000千円)</p> <p>農家レストランまほろば畑</p> <p>・業務改善会(チーム会)実施 10回</p> <p>・事務局改善会実施(市とアドバイザー) 14回</p> <p>・役員会の実施 7回</p>

<b>アウトプット(結果)</b> <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	<b>アウトカム(成果)</b> <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	<b>指標・目標</b>
・生産者会議での意見をもとに、生産者商品のPR方法の改善を行った。	・直販所売上額:35,278千円(1月～11月末現在)	【指標】 直販所の営業日数(H22:週2日) 【目標(H27)】 週6日  【指標】 直販所への出店者数(H22:11名) 【目標(H27)】 100名  【指標】 直販所売上額(H22:4,325千円) 【目標(H27)】 50,000千円  【指標】 直販所スタッフ雇用(新規) 【目標(H27)】 3名
・主力商品生産販売計画検討参加者数(54名) ・新商品の試作(2品) ・新商品の販売開始(2品) ・情報発信ツールとしてFBの本格活用開始	・来店者数 4～11月 142,009人(前年比 100%)  ・加工品販売額(11月末時点) 6,397万円 (H27目標到達点に対する進捗率 63%) (うち、キッチンマーメイド 711万円)	【指標】 加工品販売額 H22:7,000万円  【目標(H27)】 1億円
(株)ナイフアンドフォークカンパニー ・地産地消型農園レストラン・ベーカリー「トリトン」のオープン(10/19)  農家レストランまほろば畑 ・レストラン開店日数 27日(4/7～12/15)	・学校給食への供給割合 21.78%(10月末)  ・(株)南国スタイル 業務筋への供給 新規供給先2事業体 計24事業体(安定的な供給先)  ・農家レストランまほろば畑4/7～12/15の来店者数 5,599人(平均207人/回)	【指標】 学校給食における地元野菜の供給割合 (H22:10.7%)金額ベース 【目標(H27)】 15%  【指標】 業務筋への供給(H22:6事業体) 【目標(H27)】 15事業体



【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

<p>項目名及び事業概要、主な事業主体</p>	<p>これまでの主な成果と課題                      &lt;これまでの主な成果:○ 課題:◆&gt;</p>	<p>インプット(投入)                      &lt;講じた手立てが数量的に見える形で示すこと&gt;</p>
<p>10 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組</p> <p>《南国市》</p> <p>大河ドラマ「龍馬伝」を契機に再燃する龍馬ブームを好機と捉え、豊富な園芸野菜を使った「ご当地グルメ」として、龍馬に関する逸話や先塲の地等の歴史的背景を活用した「シャモ鍋」を新たに創出し、「地産「来」消」による交流人口拡大を図るとともに効果的なメディア露出などによる情報発信を強化する。</p> <p>また、シャモの飼育・ブランド化を通じて休耕地等を活用した飼料米栽培、さらには葉物野菜の出荷残渣の飼料化や鶏糞の土壌還元等の可能性を検討し、新たな農業手法を検討する。</p> <p>流通の少ないシャモ肉は少数生産であっても高級食材として取引されるため、飼育環境のトレーサビリティ等による高付加価値化を図り、「ブランド鶏肉」としての外商戦略を展開していく。</p> <p>【企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市】</p>	<p>○県内外への情報発信により、「ごめんケンカシャモ」を提供する「シャモ鍋社中」の店舗数は増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H23:南国市内15店舗⇒H26:19店舗</li> </ul> <p>○加工品開発に力を入れ、ネット販売や県外商談会での広報、ふるさと納税のお返し品への採用等により売上額を伸ばしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シャモ鍋セット」(H24)、「シャモスキヤキセット」(H25)の開発・販売</li> <li>・売上額 H23:8,210千円 ⇒ H26:22,638千円</li> </ul> <p>○産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して、高知農業高校に孵卵器・貯卵器を設置し、生産体制を強化した。(H25)</p> <p>○シャモ肉の高品質化・均一化のため高知農業高校の協力を得て、飼育データを収集・蓄積し飼育マニュアルを作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生産体制の強化</li> <li>◆シャモ肉の高品質化・均一化</li> <li>◆安定供給量(ロット)の確保</li> <li>◆販路開拓</li> <li>◆組織の経営強化</li> <li>◆直営鶏舎の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャモを突破口とする中心市街地賑わい創出事業(1名・3,060千円)</li> <li>・ごめんケンカシャモ飼育施設等整備事業費補助金(1,980千円)</li> </ul>
<p>11 民有林における素材の増産</p> <p>《物部川地域全域》</p> <p>森林所有者の所得の向上と、山村地域の振興を図るため、引き続き集約化施策を推進し、森の工場の拡大と素材の増産に取り組む。</p> <p>【各森林組合、林業事業者等】</p>	<p>○集約化団地の拡大に向けて、森林所有者への説明会を開催し、集約化施策の周知に努めた結果、26年度には森の工場の面積は目標値を上回った。</p> <p>また、事業地となる森の工場の拡大と併せ、国庫補助事業を活用し、作業道開設や高性能林業機械の導入を図り、搬出間伐による素材の増産に向けて基盤整備を行ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆森の工場における森林施策の同意率のアップ</li> <li>◆不在村地主の増加、森林所有者の高齢化や相続等による境界確認、境界確定の困難化</li> <li>◆放置林の解消</li> <li>◆保育間伐の推進</li> <li>◆林業労働力の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度の素材増産のための森林整備事業について、市町村、森林組合及び林業事業者への説明会を実施(1回)</li> <li>・森の工場及び森林経営計画の作成を支援</li> <li>・農林中金事業の実施について支援(2回)</li> <li>・進捗状況確認:2組合×3回</li> <li>・広報誌に間伐推進のPR記事掲載(管内3市)</li> </ul>
<p>12 木質バイオマスの活用に向けての取組</p> <p>《物部川地域全域》</p> <p>需用者開発について、三市が連携して取り組んだ結果、一定の進展があった。今後は排出量取引などを活用した需用者の負担軽減の仕組みづくりを行う。</p> <p>また、木質バイオマス燃料の安定供給の仕組みづくりについて検討する。</p> <p>【南国市、香南市、香美市、JA南国市、JA十市、JA長岡、JA土佐香美】</p>	<p>○三市が連携して、木質バイオマスの利用についての検討及び木質燃料の需用者開発を行い、国の制度を活用して、需用者の負担を軽減する形で園芸用ボイラー28基の導入が実現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆需用者の負担軽減</li> <li>◆木質バイオマス燃料の安定供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会の開催(1回)</li> </ul>

<b>アウトプット(結果)</b> <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	<b>アウトカム(成果)</b> <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	<b>指標・目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐の食1グランプリに軍鶏ツケで出店し、優勝</li> <li>・日本ギフト大賞2015 高知賞をシャモ鍋で受賞</li> <li>・高知家土産物コンクール2015 シャモ鍋で入賞</li> <li>・直営飲食店「軍鶏伝」オープン</li> <li>・直営鶏舎の整備完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャモ肉販売 (11月末時点 2,836kg)</li> <li>・シャモスキやきセット販売 (11月末時点販売数 407)</li> <li>・シャモ鍋セット販売 (11月末時点販売数 533)</li> <li>・ごめんケンカシャモ提供店舗数(南国市内) (11月末時点 19店舗)</li> <li>・シャモ飼育羽数 (11月末時点 1,913羽)</li> <li>・ごめんケンカシャモを使った加工品数 (11月末時点 3品)</li> </ul>	<p>【指標】 ごめんケンカシャモ提供店舗数(南国市内) (H23 15店舗) 【目標(H27)】 18店舗</p> <p>【指標】 シャモ目標飼育羽数 (H23 2,000羽) 【目標(H27)】 3,000羽</p> <p>【指標】 ごめんケンカシャモを使った加工品数 (H23 0) 【目標(H27)】 3品</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材増産のために必要な森林整備事業に係る情報共有が図られた</li> <li>・農林中金事業の実施計画が策定された</li> <li>・森林作業道の開設:4,689m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の工場整備済み面積:21,075ha(12月末)</li> <li>・素材生産量:24,353m<sup>3</sup>(11月末)</li> </ul>	<p>【指標】 「森の工場」整備済み面積 H22:9,400ha 【目標(H27)】 19,000ha</p> <p>【指標】 素材生産量(民有林のみ) H22:26,053m<sup>3</sup> 【目標(H27)】 47,500m<sup>3</sup></p>
		<p>【指標】 ペレット利用量 (H23:1,230t) 排出量取引 H23:-</p> <p>【目標(H27)】 ペレット利用量 1,230t 排出量取引 1,500t-co<sub>2</sub></p>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

＜物部川地域＞

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 〈これまでの主な成果：○ 課題：◆〉	インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉
<p>13 シイラ等の加工商材活用</p> <p>《香南市》</p> <p>シイラ等の加工による浜値向上と付加価値増加を通じて、漁業者の所得の向上を図る。</p> <p>【高知県漁協手結支所】</p>	<p>○地域の雇用確保(8名)</p> <p>○浜値の底上げ(支所が最低価格30円/kgで買い支え)の維持</p> <p>○H26加工品販売金額:16,011千円(シイラ加工品:13,234千円、シイラ以外加工品2,777千円)</p> <p>○H26シイラ原魚購入数量:107.7トン</p> <p>○高知県食品高度衛生管理手法認定を取得(H27.2月)</p> <p>◆原魚の安定確保</p> <p>◆衛生管理の徹底と更なる向上</p> <p>◆新商品の開発</p> <p>◆新たな販路開拓</p>	<p>・取引先との定期的な情報交換(1~2回/週)</p> <p>・関係者協議及び情報共有(7回)</p>
<p>14 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～</p> <p>《南国市》</p> <p>特産品づくりについては、これまでも取組を行い様々な特産品が開発されてきた。今後、一部の企業・団体でなく、特産品づくりに取り組む組織・グループを育成し、市全体に広めるとともに、プロダクトアウト型でなく、顧客ニーズも把握しながら、地域資源を活かした特産品づくりを促進する。また、できあがった特産品の売り込みを通じて地域をPRし、地域の魅力向上を図る。</p> <p>【なんこく空の駅推進協議会、西島園芸団地など既存企業、組織、グループ、新しい組織、グループ、JA南国市出資生産法人株式会社南国スタイル、南国市商工会、南国市観光協会】</p>	<p>○南国市地域雇用創出推進協議会が「実践型地域雇用創造推進事業」(厚生労働省)の取組を継続して実施(H25.7月～)。</p> <p>・ホットワイン用スパイスとしてのドライフルーツのテストマーケティング</p> <p>・四方竹のゆず味噌漬の試食・アンケート調査の実施</p> <p>・シヤモ混ぜご飯の試食・アンケート調査の実施</p> <p>・特産品の開発(びわTea(ピワ葉茶ティパック)、農産物のキムチ漬の素、ししとうジェノベーゼ風ソース、試作(ピクルス漬の素、しゃも白湯スープ、野菜ソルト、シヤモチャーシュー)</p> <p>○市単独補助金「地域特産品等研究開発事業」において、特産品開発に係る事業を支援。(H26は5件採択:ヤギミルクの活用、ももアイスのラベルデザイン改良、四方竹・孟宗竹のパッケージ開発、ぶどうジュース・生姜シロップのデザイン・ラベル開発、柿ドレッシングのラベルデザイン開発)</p> <p>◆特産品づくりに取り組むプレーヤーの発掘・育成</p> <p>◆魅力ある商品づくり</p>	<p>・南国市地域雇用創出推進協議会運営補助金 1,705千円(当初予算)</p> <p>・南国市地域雇用創出推進協議会貸付金 15,000千円(当初予算)</p> <p>・特産品開発事業費補助金(中小企業振興補助金) 3,000千円(当初予算)→採択3件(12月末時点)</p>
<p>15 香美市ブランドの確立・特産品づくり</p> <p>《香美市》</p> <p>香美市ブランドの確立、特産品づくりを行うことを通じて、働く場の確保と所得の向上を図る。</p> <p>【香美市観光協会、食品加工グループ】</p>	<p>○平成21年度から香美市地域雇用創造協議会等が中心となり、新商品の開発や特産品の県内外への販売促進、ショッピングサイトの開設等を行った。これらの活動を通じて注目を集める商品も出始め、奥ものべ・じじばあんぜん会の「塩の道マーマレードしおゆず」が、平成23年度の土佐のいい物・おいしい物発見コンクールで優秀賞を受賞した。</p> <p>○H24年度は「しおゆずビール」「しおゆずおかず」の2品を新商品として発売し、商品を充実させている。また、奥ものべ・じじばあんぜん会のセット商品「平家のかおり」商品化も決定した。</p> <p>○べふ峡温泉や香美市地域雇用創造協議会が平成21年度から取り組んできたシカ肉の商品開発は、平成23年度までに9品目の商品ができた。平成23年5月に開催された土佐の食1グランプリでのシカドッグの優勝を機に、シカ肉の加工品が注目を集め、販路拡大につながった。</p> <p>◆シカ肉加工品の需要拡大に伴うシカ肉の安定供給体制の確立</p>	<p>・香美市観光協会運営事業費補助金 11,000千円</p> <p>・別府森林総合利用施設指定管理料(べふ峡温泉、キャンプ場) 19,000千円</p> <p>・情報発信交流施設指定管理料(香美市いんふおめーしょん) 4,400千円</p> <p>・特産品の販売及びPR</p> <p>・「コハマ農産物直販所」が農業創造セミナー(実践コース)に参加</p> <p>・「奥ものべ・じじばあんぜん会」が産地視察型商談会に参加</p> <p>・「コハマ農産物直販所」協同組合「産生の里」を6次産業化支援チームにより支援することとなった</p> <p>・香美市商工観光推進事業費補助金((協)産生の里) 200千円</p> <p>・高知県農林水産物直販所支援事業(アドバイザー指導・助言)((協)産生の里)</p>



<b>アウトプット(結果)</b> <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	<b>アウトカム(成果)</b> <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	<b>指標・目標</b>
・水産物卸業者、商社との新規取引の開始(12月末時点 2社)		<b>【指標】</b> シイラ加工事業の販売金額 H22:2,571千円 衛生管理の認証  <b>【目標(H27)】</b> 700万円 県版HACCPの取得
・びわ種ローション・石鹼の試作開発 ・「ゆずたまご」を使用した焼き菓子の新商品パッケージの作製 ・鉄窯と薪を使用した「はぶ茶」の販売促進用パンフレット、ポスターの作製		<b>【指標】</b> 地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規) <b>【目標(H27)】</b> 10組織・団体  <b>【指標】</b> 開発商品売上額 (H22:656万円(28品目)) <b>【目標(H27)】</b> 1,000万円(40品目)
・特産品販売出店回数:32回 ・新商品開発・販売開始 「しょうがかりんとう」(コハマ農産物直販所)	・特産品のPRができた	<b>【指標】</b> 開発商品売上額 (H22:4,808千円(10品目))  <b>【目標(H27)】</b> 6,300千円(20品目)

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<物部川地域>

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 〈これまでの主な成果：○ 課題：◆〉	インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉
<p>16 「ごめん」の賑わいづくり～ごめんの活性化～</p> <p>《南国市》</p> <p>かつては南国市の中核的存在であった「ごめん商店街」に再び賑わいを取り戻せるよう取組を行っていき。地元商店主の大半が高齢化し、後継者がいないために主体的な取組が生まれにくい状況だが、これまでの取組の中でできたやなせたかしロードや高知農業高校のアンテナショップ、ごめんの軽トラ市などを活かし、地元の意識醸成を図りつつ、賑わい拠点の創出や運営管理できる組織づくりにより、まず人が訪れる仕組みづくりを図っていく。</p> <p>【南国市商工会、南国市商工会後免支部、ごめんまちづくり委員会、地産地消ごめんの軽トラ市実行委員会、企業組合ごめんケンカシャモ研究会、ごめん生姜アメ研究会、後免町公民館建設推進部会、高知農業高校】</p>	<p>○ごめん・よってこ広場に企画運営員と集落支援員を配置した。</p> <p>○ごめん・よってこ広場を拠点に「ごめん町イベント実行委員会」が賑わい創出のための各種イベントを地域・関係団体とともに協力・連携し、企画開催した。</p> <p>○商工会内で土地活用特別委員会を設置し、商工会東の土地利用・商店街の活性化の方策を協議した。</p> <p>○後免防災コミュニティセンターが完成し、H27.5月にオープンを予定</p> <p>○実行委員会を立ち上げ、「ハガキでごめんなさいコンクール」を開催(応募総数904通)</p> <p>○「ごめん町イベント実行委員会」が組織された。</p>	<p>・ごめんの軽トラ市支援事業 600,000円</p> <p>・軽トラ市開催(5/24.11/1)</p> <p>・後免商店街活性化事業(ごめん・よってこ広場運営事業人件費) 1,035,000円</p> <p>・商店街活性化事業(ごめん・よってこ広場運営事業イベント費) 600,000円</p> <p>・空き店舗活用補助金1件採択</p> <p>・平成27年度地域商業自立促進事業採択(総事業費:5,400,000円)</p>
<p>17 香南市の地場産品販売促進</p> <p>《香南市》</p> <p>香南市の地場産品を事業者が一体となり販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。</p> <p>【香南市観光協会、香南市内の事業者】</p>	<p>○香南市内の事業者の商品をカタログやネットで販売することにより、事業者の商品開発やメニュー開発意欲向上につながった(カタログ販売:H22～26、ネット販売:H23～26)</p> <p>○ふるさと応援券附金の記念品等に採用され販売額が増加(H25～26)</p> <p>○各種イベントに出店し販売活動を行っている</p> <p>◆商品及び販売機会の増加</p> <p>◆商品販売体制の継続</p>	<p>・香南市産業振興推進ふるさと雇用事業(市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業)→1名雇用(継続)</p>
<p>18 香南市の商業振興への取組</p> <p>《香南市》</p> <p>コミュニティガイド事業で作成・配布した「生活情報ガイド」や「コミュニティイベント」の継続により、地域の消費者に対し生活の利便性を提供するとともに、商業者のまとまりを再構築し、商業者が一体となって取組を行い、地域内での顧客の増加、さらには地域外への商圏拡大を目指す。</p> <p>【香南市商工会、香南市内の商業者】</p>	<p>○「お店紹介BOOK」の配布が新規顧客に繋がりが始まり始めており、H23年度の改訂版発行時には、商工会に対し掲載希望が寄せられた(お店紹介BOOK「香南市の・おいしい・たのしい・うれしい」の発刊 H21、H23)</p> <p>○コミュニティイベント「香南百貨店おひろめ市」の取組(H22～25)</p> <p>○新たなポイントカード制度の実施に向けて検討中。ポイントカード事業導入等について(消費者及び商店者対象)のアンケートを実施(H25、H26)</p> <p>◆来店客の増加</p>	<p>・ポイントカード制度導入に向けての商業部会員への周知</p> <p>・香南市地域活性化委員会の開催(3回)</p>
<p>19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興</p> <p>《香美市》</p> <p>海外での展開も視野に入れた新商品の開発や販路の開拓のほか、昔ながらの技術や文化の継承を図るため、次世代を担う後継者の育成にも取り組む。</p> <p>【高知県土佐刃物連合協同組合、香美市商工会、フラフ製造業者、香美市観光協会】</p>	<p>○土佐打刃物とフラフは、伝統的産業であり、生活様式等の変化を受けて需要減少傾向の中ではあるが、香美市地域雇用創造協議会の実現チームが中心となり、販売促進や商品開発に関する取組を行った。</p> <p>○あかめナイフの販売を開始した。</p> <p>○地域アンテナショップ2店舗を開設し、地場産業の紹介等を行った。「ふらつと中町」には土佐打刃物PRのための展示販売場を常設し、「龍河荘ぐる里」はアンテナショップとしては休止しているが、要望があれば土佐打刃物鍛造体験を体験観光メニューとして販売している。</p> <p>○土佐打刃物製造業の後継者育成については、中小企業団体中央会の「連携組織活性化推進事業」を活用し、「土佐刃物製造業の後継者育成に向けたモデルプラン」を策定した。</p> <p>○高知新港に寄港する大型客船の乗員乗客向け物販ブースにてくじらナイフの販売を行なった(H25～H26)。</p> <p>○県の「伝統的工芸品産業等育成対策事業」の活用により、研修生の受入れ(1名)が決定した(H26)。</p> <p>◆県の「伝統的工芸品産業等育成対策事業」の周知及び研修生受入れ事業者の発掘</p>	<p>・香美市観光協会運営事業費補助金 11,000千円</p> <p>・土佐打刃物後継者育成助成事業 2,700千円</p> <p>・香美市商工観光振興事業費補助金(刃物まつり) 600千円</p> <p>・土佐の豊穰祭助成金(刃物まつり) 500千円</p>

<b>アウトプット(結果)</b> <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	<b>アウトカム(成果)</b> <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	<b>指標・目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後免防災コミュニティセンターのオープン(5/10)</li> <li>・軽トラ市来場者数 計3,000人</li> <li>・南国市中心市街地活性化推進協議会設立</li> </ul>		<p>【指標】 賑わい創出のための拠点施設整備 (H23:0件) 【目標(H27)】 1件</p> <p>【指標】 空き店舗活用(H23:0件) 【目標(H27)】 2件</p> <p>【指標】 地元・地域を巻き込んだ実際に活動できる組織の設立(H23:0組織) 【目標(H27)】 1組織</p> <p>【指標】 ごめん商店街の歩行者通行量 (H23:ばいきんまん前 12人/h)、(ジャムおじさん前 23人/h)) 【目標(H27)】 ばいきんまん前20人/h ジャムおじさん前40人/h</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>土佐香南まるごと旨市カタログ</li> <li>・2015年春夏カタログ発行 (H27.4.1~9.30)</li> <li>・2015年秋冬カタログ発行 (H27.10.1~11.30)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015春夏カタログ売上実績(680件、4,782千円)</li> <li>・2015秋冬カタログ売上実績(294件、2,335千円)</li> </ul>	<p>【指標】 参加事業者数 H23: 29事業者</p> <p>【目標(H27)】 35事業者</p>
		<p>【指標】 商業者数 H23 873店</p> <p>【目標(H27)】 現状維持</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐打刃物の研修生1名が受入れできた。</li> <li>・海外(アメリカ)へくじらナイフ420本を販売した。</li> <li>・くじらナイフが経済産業省「The Wonder 500」に認定された。</li> </ul>		<p>【指標】 刃物製造業者数 (H23年12月末現在36事業者)</p> <p>【目標(H27)】 現状維持</p>



【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

＜物部川地域＞

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 〈これまでの主な成果：○ 課題：◆〉	インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉
<p>20 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化</p> <p>《香美市》</p> <p>利用可能な空き店舗の改修や商店街と地域住民、移住者等の情報交流拠点施設の整備を行うことなどにより、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。</p> <p>【香美市商工会、えびす街協同組合、地域活動団体、香美市】</p>	<p>○香美市民の移住や定住等に関する意識を調べるため、地域状況調査を行い、今後の移住施策に繋げることができた(H26)。</p> <p>○商店街まちづくり事業補助金(補助元:全国商店街振興組合連合会)を活用し、街路灯の整備を行うことで、住民の不安・不便を解消することができた(H26)。</p> <p>○広域振興等地域活性化事業費補助金を活用し、地域振興地図「住み歩きMAP」を発行し、移住者へのアプローチのためのツールができた(H26)。</p> <p>○香美市の街パルイベント(香美パル)の開催(H26)。</p> <p>◆商店街の活性化に向けた空き店舗の活用策の検討</p> <p>◆移住希望者に向けた地域創業を促す仕組みづくり</p> <p>◆地域状況調査結果の各施策への反映</p>	<p>・ふらっと中町へ地域支援員を1名配置(9月から)</p> <p>・チャレンジショップ補助金交付決定額 7,371,888円(7/8)</p> <p>・ふらっと中町チャレンジショップへショップ運営員1名配置(12月から)</p>
<p>21 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～</p> <p>《南国市》</p> <p>交通の要衝という恵まれた立地環境を活かし、地域内の観光資源をつなぎ、地域が誇る史跡資源(長宗我部)や農業などの地域資源を活かして観光を産業として、成り立たせる仕組みを構築していく。</p> <p>【南国市観光協会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ】</p>	<p>○観光コーディネート組織の設立(H21～23)</p> <p>・南国市観光協会がH24年度から観光コーディネート組織として活動していけるよう、事務局も含めて行政から独立した組織とする準備作業を行った。</p> <p>○観光ガイド組織「南国市観光案内人の会」の設立(H23)</p> <p>○観光協会に専任スタッフを配置し、企画力、機動力が大幅に向上し、観光商品の開発やブラッシュアップなどが進んだ。(H24.4～)</p> <p>○観光協会を一般社団法人化し、観光客や会員の多様なニーズに迅速かつ臨機応変に対応できる体制が構築された。(H25)</p> <p>◆観光協会の組織及び体制の強化(「会員の増」、「財政基盤づくり」等)</p> <p>◆「南国市観光案内人の会」のガイドとしてのスキルアップ</p> <p>◆継続的な観光資源のブラッシュアップ</p> <p>・史跡・歴史的資源を文化資源としてだけでなく観光資源として磨き上げること</p>	<p>・長宗我部フェス補助金 1,000千円</p> <p>・岡豊山さくらまつり・食1GP補助金 1,800千円</p> <p>・南国市観光協会補助金 13,272千円</p> <p>・南国市観光拠点等整備事業費補助金(長宗我部元親飛翔の像観光集客推進事業) 3,000千円</p> <p>・土佐のまほろば祭り運営事業費補助金 4,000千円</p> <p>・物部川流域3市合同イベント運営費補助金 100千円</p>
<p>22 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信</p> <p>《香南市》</p> <p>香南市の海と山と歴史などの地域資源を活用した体験観光等を推進し、交流人口の増大を図る。また観光資源としての歌舞伎を活用し、歌舞伎を核とした交流の場作りを行う。</p> <p>【香南市観光協会、香南市、香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会、地域の体験メニュー等提供団体】</p>	<p>○香南市観光協会が一般社団法人化し、旅行業第3種の登録を行い、旅行商品の企画から販売までの体制が整った(H22年度)</p> <p>○旅行商品化に必要な観光情報の一元把握(H21～26年度)</p> <p>○旅行商品の造成と販売(H21～26年度)</p> <p>○地域情報の発信(H21～26年度)</p> <p>○「香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会」の立ち上げ・開催(H26)</p> <p>◆旅行商品の企画・販売の継続</p> <p>◆地域素材を使った旅行企画の開発と多様化</p> <p>◆エージェントに対するプロモーション</p>	<p>・香南市産業振興推進ふるさと雇用事業(地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業)―1名雇用(継続)</p> <p>・土佐の観光創生塾への参加(2回)</p> <p>・高知県観光プラットフォームづくり勉強会への参加(1回)</p> <p>・プロモーション活動(1回・計10社)</p>
<p>23 「森の駅」を中心とした体験型観光の推進</p> <p>《香美市》</p> <p>べふ峡温泉を「森の駅」と位置づけ、体験型観光の拠点施設として森林を活用した観光を推進する。また、体験プログラムの実施による地域住民との交流や地域の活性化につながる香美市の新たな産業としての観光の育成を図る。</p> <p>【香美市、香美市観光協会、地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体】</p>	<p>○観光案内所「香美市いんふおめーしょん」や地域アンテナショップを開設し、雇用の創出及び観光情報を提供する場としてのネットワーク強化を図った。</p> <p>○香美市地域雇用創造推進事業として実施した研修によって、多くの方々が地域の観光資源について深い知識を得ることができた。</p> <p>○観光コーディネート等を行う組織として、一般社団法人香美市観光協会が平成24年2月1日に発足した。</p> <p>○べふ峡温泉林間広場の基盤整備、龍河洞の洞内照明LED化、「ほっと平山」の案内板の設置などの環境整備を行った。</p> <p>○一般社団法人香美市観光協会主催による新たなイベントを企画、実施した。</p> <p>○龍河洞多言語対応アプリの完成により、外国人観光客への対応が可能となった。</p> <p>◆一般社団法人香美市観光協会の体制強化及び体験メニューの造成</p> <p>◆体験インストラクターの育成</p>	<p>・香美市観光協会運営事業費補助金 11,000千円</p> <p>・香美市観光協会運営事業費補助金 2,200千円(観光パンフレット作成分)</p> <p>・別府森林総合利用施設管理委託料 19,000千円</p> <p>・情報発信交流施設指定管理料(香美市インフォメーション)4,400千円</p> <p>・各種観光イベントの開催</p> <p>・各種体験プログラムの実施</p>

<b>アウトプット(結果)</b> <small>&lt;インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと&gt;</small>	<b>アウトカム(成果)</b> <small>&lt;アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと&gt;</small>	<b>指標・目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらっと中町チャレンジショップ(1店舗)がオープン(9/19)</li> </ul>		<p>【指標】 新規店舗の開業数</p> <p>【目標(H27)】 1店舗以上の開業</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ(4/4,5) 入込客数 7,000人</li> <li>・長宗我部元親飛翔之像建立記念イベント・式典(5/3) 入込客数 700人</li> <li>・長宗我部元親飛翔之像建立記念ウオーク(5/5,10,16,10/25) 参加者 54人</li> <li>・長宗我部フェス(5/16) 入込客数 1,500人</li> <li>・土佐のまほろば祭り(8/1) 入込客数 10,000人</li> <li>・物部川流域フェスタ(9/27) 入込客数 5,000人</li> </ul>		<p>【指標】 観光協会の会員数(H23:77)</p> <p>【目標(H27)】 150</p> <p>【指標】 一般社団法人数(観光協会の法人化)</p> <p>【目標(H27)】 1組織</p> <p>【指標】 主要4観光施設※の入り込み数 (H21:483,000人)</p> <p>【目標(H27)】 500,000人</p> <p>※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パンフィックゴルフ(以上、来場者)、道の駅南国風良里(ショップ、直販所のレジ通過人数)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷寺坐禅ツアー(延べ7回)を企画・募集</li> <li>・ニラを120%楽しむ体験モニターツアーを企画・募集</li> <li>・梅雨を楽しむあじさいツアーを企画・募集</li> <li>・第4回土佐塩の道トレイルランニングレース(前日イベントを含む)を企画・募集</li> <li>・「B列車で行こう」ツアーを企画・募集</li> <li>・サンセット・シーカヤックツアー(延べ2回)を企画・募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷寺坐禅ツアー(募集延べ80名、参加者延べ55名)</li> <li>・ニラを120%楽しむ体験モニターツアー(募集延べ40名、参加者延べ25名)</li> <li>・梅雨を楽しむあじさいツアー(募集10名、参加者5名)</li> <li>・第4回土佐塩の道トレイルランニングレース前日イベント(講習会)(募集30名、申込28名、参加者17名)</li> <li>・第4回土佐塩の道トレイルランニングレース(募集200名、申込200名、出走182名)</li> <li>・「B列車で行こう」ツアー(募集40名、参加者35名)</li> <li>・サンセット・シーカヤックツアー(募集延べ20名、参加者延べ7名)</li> </ul>	<p>【指標】 年間プロモーション活動</p> <p>【目標(H27)】 年6回以上(年のべ50社以上)</p> <p>【指標】 主催旅行の開催</p> <p>【目標(H27)】 10コース・募集200人以上</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4月29日シカニクの日！べふ峡温泉スプリングフェスタ」の開催 887名(4/29)</li> <li>・奥物部林鉄軌道ウオーク実施 23名(4/26)</li> <li>・歌で巡る史跡うおーく」実施 18名(5/30)</li> <li>・「ほっと平山」で森林環境学習体験PGの実施 7名(9/25～9/27)</li> <li>・香美市の街バルイベント(香美バル)の開催 チケット売上553シート(10/30・10/31)</li> <li>・龍河洞クリスマスキャンドルナイト開催 龍河洞入洞者数1,163名(12/23)</li> </ul>		<p>【指標】 体験プログラム数 (H23:13プログラム)</p> <p>【目標(H27)】 20プログラム</p> <p>【指標】 体験プログラム受け入れ人数 (H23:一人)</p> <p>【目標(H27)】 500人</p>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

＜物部川地域＞

項目名及び事業概要、主な事業主体	これまでの主な成果と課題 〈これまでの主な成果:○ 課題:◆〉	インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉
<p>24 広域観光の取組の推進</p> <p>《物部川地域全域》</p> <p>高知中央広域定住自立圏共生ビジョンの観光事業において、物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、一体として情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【高知中央広域観光協議会のうち南国市、香南市、香美市、南国市観光協会、香南市観光協会、香美市観光協会】</p>	<p>○広域観光を推進する母体となる物部川地域観光振興協議会を設立(H23~H24)した。エージェントセールス活動やモニターツアーを実施し、エージェントのニーズを全体で共有し、旅行商品化に向け旅行会社と検討を行った。</p> <p>○物部川地域観光振興協議会を発展的に解消し、高知中央広域定住自立圏構想の枠組みのもと、高知市と物部川地域(南国市・香南市・香美市)が連携し、高知中央広域観光協議会を設立(H25.5月)した。広域観光パンフレットの作成やプロモーション(エージェントセールス・モニターツアー)を実施したほか、観光・物産展を開催した。</p> <p>○プロモーションツールとして、ポスター及び体験観光パンフレットを作成した。</p> <p>◆2年間の取組を踏まえ、4市による取組の一層の充実強化に向けて、広域観光協議会の戦略の構築を図ることが急務である。</p>	<p>・実務担当者会の開催(6回)</p> <p>・高知中央広域観光協議会総会の開催</p>
<p>25 大学生による地域応援団(サポーター)づくり</p> <p>《物部川地域全域》</p> <p>地域と大学等の学生の交流機会を増やし、相互の理解を深めることにより、物部川地域をサポートする『地域応援団(サポーター)』を作っていく。</p> <p>【人と地域の研究所、学生グループ】</p>	<p>○従来から開催されてきた地元住民との交流会を契機として、高知工科大学において地域共生概論が履修科目として開設されたことにより、地域との関わりづくりが強力に推進され、科目履修以外でも自発的に地域のイベントに参加する動きもある。また、地域と若者、特に学生をつなぐ役割を担うNPO法人「人と地域の研究所」が発足し、県から受託したふるさとインターンシップ事業において、再度参加を希望する学生や既参加学生の勧誘による参加者もあり、地域との関わりは参加学生にとっても意義あるものとなっている。</p> <p>○H24年度は、高知工科大学を中心に、学生と地域のニーズのマッチングを行い、63名の学生が地域と交流を行った。また、高知工科大学事務局と学生と地域の連携について協議し、学生の活動に対する支援を行うこととなった。</p> <p>◆地域に興味を持つ学生の確保</p> <p>◆活動内容の情報発信</p> <p>◆継続した交流への発展</p>	<p>・高知工科大学の「ココイコ!プロジェクト」(物部町神池)での交流活動(5回)</p>
<p>26 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化</p> <p>《香南市》</p> <p>ヤ・シィパークの新たな魅力となる施設として、香南市産のメロン、ミカン、文旦などを使用した氷菓と焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備することにより、地域産品の活用促進による生産農家の所得の向上と、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【㈱ヤ・シィ、香南市】</p>	<p>◆高知東部自動車道の全面開通後の国道55号の通行量の減少</p> <p>◆来園者の増加及び閑散期の集客力の向上</p>	<p>・「ヤ・シィパーク周辺地域活性化事業検討委員会」の開催(3回)</p> <p>・新施設整備に向けて検討会の開催(11回)</p> <p>・商談会の実施(1回)</p>



<b>アウトプット(結果)</b> <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	<b>アウトカム(成果)</b> <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	<b>指標・目標</b>
		<b>【指標】</b> 観光客入り込み数 H21:72.1万人 H22:78.1万人 (内訳) 主要観光施設訪問者数 H21:67.5万人 H22:73万人 体験メニュー受け入れ数 H21:4.6万人 H22:5.1万人  <b>【目標(H27)】</b> 80万人
<b>【実績】</b> 交流した学生数 278名 ・高知工科大学 195名 ・高知県立大学 73名 ・高知大学 10名		<b>【指標】</b> 交流した学生数 (H23年:19名) ・高知県立大学2名 ・高知工科大学9名 ・高知大学4名 ・県外大学4名)  <b>【目標(H27)】</b> 累計100名以上